

令和4年度 北区立浮間小学校 研究構想図

【学校教育目標】

- よく考え 進んで学習する子
- 仲良く すなおで明るい子
- じょうぶな体で がんばる子

【これまでの取り組み】

令和2年度

「自分の思いや考えをもち、
進んで表現できる児童の育成」
～授業における子供たちのか
かわり合いを通して～

令和3年度

「自分の思いや考えをもち、す
すんで表現する児童の育成」
～算数科を通して学ぶ楽し
さを実感できる授業づくり
～」

【児童の実態】

- ・ほとんどの児童が「話の中心を押さえて聞く」ことを意識して、またはしようと努力している様子が見られる。しかし、「聞いて理解する」「傾聴する」ということが難しい児童も多い。
 - ・自分の考えを伝えるための表現方法、また伝え合いや話し合い方に対して「どのように進めてよいか分からない」と感じている児童が多い。
- ⇒考えや意見を表す表現方法・伝え合いの方法について、児童がこれらを身に付けるための手立ての工夫が必要である。

【教師の願い】

- ・児童が傾聴の態度を正しく身に付け、落ち着いた環境の中で学習に取り組むこと。
- ・児童の発達段階や特性、学級の実態に応じて、考えを伝える様々な表現方法を教師が指導できること。
- ・教師の発問に対して、児童が言葉や絵・図・挙手・選択などの方法を用いて、自身の考えを適切に表現できるようになること。



【研究主題】

『自分の思いや考えをもち、すすんで表現するための
授業デザイン』

【目指す児童像】

- ・自分の思いや考えをもち、伝え合う子（低学年）
- ・自分の思いや考えを分かりやすく伝え合う子（中学年）
- ・自分の思いや考えについて自信をもって表現し、多様な意見を受け止める子（高学年）
- ・自分の思いや考えを整理し、相手を意識して伝えられる子（特別支援学級）



3つの実践項目	具体的な手だて（算数科・国語科）
人的環境	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数習熟度別指導による、児童の実態に合った学習内容の工夫（UD） ・学年での教材の共有など、日々のOJTによる授業力向上の取り組み ・浮間タイム、フォローアップの時間を活用した基礎基本の徹底
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の生活体験に即した学習問題の作成 ・習熟度や児童の実態に寄り添うカリキュラムマネジメント（UD） ・学習の流れが分かるような板書・ノート指導（UD）
教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した授業実践（UD） ・既習内容の掲示（UD） ・整理整頓された、学習に集中しやすい教室環境づくり（UD）

※UD…ユニバーサルデザインを意識した手立て